

# 熊野古道 伊勢路を行く

## 東熊野街道編

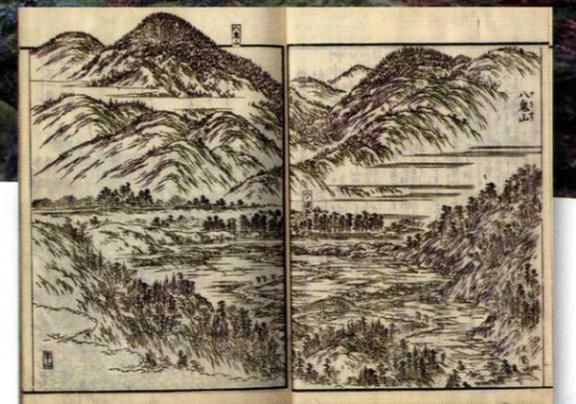
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が登録15周年となる平成31年7月を控え改めて熊野詣について考えてみます。

伊勢路は、本来は「生活道」として地域ごとに造られ、それが結ばれてより広範な地域の交流が成り立ち、その後藩の政策等により整備されたものです。それが、信仰の道としても利用されました。伊勢路を含め紀伊路、大辺路、小辺路などの登録には、「文化的景観」が重要視されました。人々が長い時間をかけて自然に働きかけその結果生みだされた景観(もちろん聖地を含む)が世界遺産として認められたものです。伊勢路は、地域の人たちと道行く巡礼者たちとの密接な関係の中で利用され保全されてきたのです。

中世の熊野街道紀伊路は、上皇らの熊野詣に示すように京都から熊野を往復する参詣道でした。近世江戸時代には、旅人の様子が変わります。上皇や公家、武家から庶民への変化です。その旅の中心は伊勢参宮です。伊勢参宮後、多くは京都大阪へそして金毘羅山へと神社仏閣を周遊することが盛んになります。少数の人たちは熊野方面へと向かいました。それは観音信仰に基づいての旅であったことが特徴です。巡礼が目指したものは、西国三十三所巡りの第一番札所青岸渡寺であり、主に関西に点在する三十三所の観音を廻ることにありました。

伊勢から京都大阪を目指すには大きく二つのルートがあります。

八鬼山越えの巡礼墓碑



西国三十三所名所図会「八鬼山越え」

初瀬本街道(伊勢本街道)、和歌山街道などの大和越えと熊野を目指す熊野街道伊勢路です。大和越えは、紀州藩が参勤交代にも利用し整備されていました。もともと比較的平坦で奈良吉野などの繁華な街並みを通ることになります。一方、伊勢路は険しい山々のため利用する旅人は大和越えとは全く質的に異なる人々であったと考えられます。旅籠が少ないことや途中で食屋、草鞋が手に入りにくいことなど不便さは多くあったろうと思われます。この不便さを克服して熊野を目指した精神的なものに思いを馳せることが重要だと思われま。

伊勢路の魅力は、峠越えだけでなく1泊2日、2泊3日など土地々々の宿で泊まりある程度の距離を歩くことによって感じ取ることができるものだと思います。道中、木々の葉がこすれる音が旅人(巡礼)のささやかに聞こえるような道行きをしてみたいかがでしょうか。



熊野古道からのてがみ

熊野古道からのてがみ 50 通目

熊野古道をご案内するとき、必ずさせていただくお話があります。14年前鳥羽から当地へやってきました。私は、仕事の合間に熊野古道や史跡を訪ね歩いて、地域のことを勉強していました。

そうしたある日、井田観音を探して道が分からなくなり、車を停めて立ち往生していたところに「台の軽トラ」がやってきて、明らかに仕事中的男性二人が、「おしさんかな?」と声を掛けてくれたので、「井田観音さんほどちらですか?」と尋ねると、「この車に付いておいでと、観音様の場所まで連れて行ってくれました。」



去り行く軽トラにお辞儀をして観音様の境内を歩いていると、畑仕事の男性が、「観音さんかな?」と声を掛けてくれ、「ちょっと待ってよ」とクワを置いて家にお堂の鍵を取りに行ってくれて、おかげさまで井田観音様を拝観することができました。

この人たちの親切を私は一生忘れません。

「困っているよ者に優しい」地域性は、歴史上多くの敗者を迎え入れ随道を手助けした。

今私たちは、熊野古道伊勢路を訪

次は大紀町の 小倉公守さん



金子修さん (紀北町)

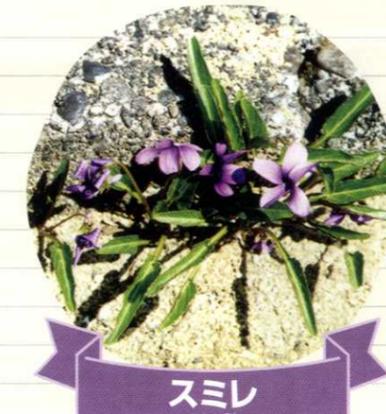
道中KUMANO KODOと書かれた赤白マークを見つけたら、安心して旅を続けてください。

昔と違って古の道は車道で分断され、ガイドブック通りになさることも難しい古道歩きですが、今私は同志たちと「セーフェイス」伊勢路という組織を立ち上げ、「迷わず歩ける熊野古道伊勢路の実現に向けて活動しています。」

## 花尻 薫からの季節のたより No.50

スマレは春を代表する草花です。3月から5月にかけて、葉の間から花の茎を出し、1本に1個の可愛い花をつけます。花の色はアントシアニンという色素によるものであると言います。名前の由来は大工さんが使用する墨壺に似ており墨入の意味から「スマレ」と言う名前になったと言います。

スマレは人家に近い所に生え、花の時期は3月から5月で、地下茎は短く、根はかっ色で、葉の数は多く、花の長さは約2cm~9cmで濃い紅紫や色の淡い物まであります。分布は日



スマレ

本全土です。スマレは種類が多く、サクラスマレ、コスミレなどがあり、北海道や本州・四国・九州の主に太平洋側に分布しています。白花スマレは本州の標高約600m以上の高地にしかなく、栽培品も多く色が様々な三色スマレ(パンジ)や冬の花壇に植えられる黄色や紫色、白色、紅色、オレンジ色など多彩な花を咲かせています。

センター敷地内「夢古道おわせ」

お母ちゃんのランチバイキング

営業時間: 11:00~14:00

料金: 中学生以上 1,200円、小学生以上 700円、4歳~小学生 300円、4歳未満 無料、60歳以上 1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」

営業時間: 10:00~21:00

入浴料: 一般 600円、65歳以上 500円、4歳~小学生 300円、4歳未満 無料

お風呂が、カフェでまったり

営業時間: 9:00~16:30

TEL 0597-22-1124

熊野古道センターからのてがみ 2019年春号

●発行日: 2019年3月10日(季刊)

●編集・発行: 三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然歴史文化ネットワーク)

●編集担当: 玉村

●連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumano-kodocenter.com

●開館時間: 午前9時~午後5時

●入場料: 無料

●休館日: 12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索

ホームページ: <http://www.kumano-kodocenter.com/>

60000190310AT

熊野古道伊勢路 通行止め一部解除のお知らせ

熊野古道伊勢路「横垣峠道」の一部(横垣峠(石崎)~坂ノ峠区間)は通行が解除となりました。

詳しくは熊野古道教育委員会 TEL.05979-3-0526までお問い合わせください。

熊野古道センターからのてがみ

●お車でのお越しの方は... 尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルビオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)※尾鷲南ICからは約8分

●電車でお越しの方は... ■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」前下車 ■松阪駅 →南紀特急バス「熊野古道センター」前下車(約2時間)

その他  
**Guide&Tips**

# オオダイガハラ サンショウウオ

2018年9月、紀伊半島全域で県指定文化財(天然記念物)に。成体は青紫色で、全長は平均18センチほど。米海軍士官のトンプソン氏が1911年に奈良県の大台ヶ原で発見しました。その生育には、溪流と林床が必要。数が少なく、環境省は絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大しているレベル)に分類している紀伊半島固有種です。



4月20日(土)  
開催予定の  
熊野古道自然学校  
「紀伊半島の小動物たち」で  
会えるかもしれません。

## 旬の企画展

### 企画展 熊野の花火

～伝統を守る花火師たち～

夏風物詩でもある打ち上げ花火の現場を紹介する企画展。花火の製造から打ち上げまで、裏舞台で活躍する花火師の仕事について紹介します。

期間 4/27(土)・6/23(日) ●会期中無休  
時間 午前9時～午後5時  
場所 企画展示室  
入場料 無料

### 4/27(土) 花火師の仕事体験①

花火玉貯金箱をつくろう!

4号玉(直径11.5cm)の玉皮を用いて、玉作りの最後の工程「玉貼り」の作業を体験し、オリジナルの貯金箱を作ります。

時間 午前10時～12時  
参加料 1,000円(材料費込み)  
定員 20名(要申込、応募多数の場合抽選)  
場所 体験学習室  
講師 梅田 ゆか子氏(有限会社 和田煙火店)

---

### 4/27(土) 花火師の仕事体験②

打ち上げ花火の現場を体験しよう!

華やかな花火大会の舞台裏で働く花火師の仕事について、現役花火師が解説します。実際の作業の一部を体験することもできます。

時間 午後1時～3時 受付  
参加料 無料  
定員 30名程度(事前申込不要・先着順)  
場所 企画展示室  
講師 梅田 ゆか子氏(有限会社 和田煙火店)

---

### 5/1(水) 花火師の仕事体験③

一夜限りの美の競演

仕掛け花火の「木造建築と銀魂」代表格ともいわれる「銀魂」を実演します。ヒノキ造りの建物と伝統花火の競演をお楽しみください。

時間 午後8時点火  
参加料 無料  
場所 芝生広場  
花火師 有限会社 和田煙火店

### 特別展示室 企画展

## ふるさとの伝統 市木木綿

明治時代に市木村(現御浜町下市木)で生まれ、この地を代表する産業であった市木木綿の歴史と、現在唯一の生産者となった向井浩高さんの取り組みについて紹介します。

期間 4/13(土)・6/9(日) ●会期中無休  
時間 午前10時～午後5時  
場所 特別展示室  
入場料 無料

---

### 5/19(日) 伝統体験 市木木綿の香り袋と菜作り

お好きな柄の市木木綿の巾着袋に天然のアロマオイルやハーブを入れたオリジナルの香り袋と、市木木綿を飾り付けた木の菜を作ります。

時間 午前10時～正午  
参加料 1,500円(材料費含む)  
定員 20名(要申込、応募多数の場合抽選)  
場所 和室  
講師 向井 浩高氏(向井3代目店 3代目)、向井 美和氏(アロマトジスト)

## 和歌山県 世界遺産センターからのお知らせ

当センターでは、世界遺産全般および「紀伊山地の霊場と参詣道」の理解を深め、世界遺産の良好な保全と適切な活用について、皆様と一緒に考える場として世界遺産セミナーを開催しています。平成30年度は、4回開催し、110名の方にご参加いただきました。来年度は下記の日程での開催(予定)となりますので、世界遺産に興味・関心のある方のご参加をお待ちしております。(参加費は無料です)

また、当センターが行う参詣道保全活動「道普請」は、毎年多くの方に参加していただいています。平成30年度は、2月末日現在で、延べ53団体、2,287名の皆様にご参加くださいました。今後も多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### 平成31年度 世界遺産セミナー(予定)

6/23(日)	7/7(日)	9/1(日)	12/15(日)
内容 高野山麓の民俗 ～高野山への納骨習俗～	内容 戦前の映画に見る 熊野路の風景	内容 熊野の無社殿神社	内容 九度山町の 世界遺産周辺の景観
場所 構本市教育文化会館	場所 世界遺産熊野本宮館	場所 新宮市福祉センター	場所 九度山町中央公民館

※開会時刻は、何れも13:00です。  
※諸般の事情により、日時及び内容を  
変更する場合があります。

### 平成31年1月・2月の道普請参加団体(敬称略)

阪和興業株式会社、田辺市天神児童館、明治安田生命保険相互会社、新宮市立熊野川小学校、那智勝浦町立市野々小学校、和歌山ターミナルビル世界遺産クラブ、西日本鉄道08会和歌山支部世界遺産クラブ

文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・海清掃掃雪)を行っていただくものです。ボランティア活動 CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいています。

「道普請」とは

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは  
和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。  
住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

## 体験教室

### 4/13(土) 県民の日

県民の日になみ、尾鷲ヒノキを使用したバターナイフづくり体験を開催します。

時間 午後1時～3時  
参加料 100円  
定員 材料がなくなり次第終了 ※事前申込不要  
場所 交流棟ロビー  
講師 熊野古道センター職員

## 東紀州の特産品や食材の魅力を知らいただくための料理教室です。

### 4/14(日) 春のワラサ料理

今が美味しい! 春のワラサ料理

尾鷲で水揚げされる春のワラサを使用します。

時間 午後1時～午後3時  
参加料 2,000円  
定員 24名(要申込、応募多数の場合抽選)  
場所 体験学習室  
講師 村林 新吾氏(相可高校食物調理科教師)、相可高校生徒(調理クラブ)

## 紀州岩清水豚レシビ

東紀州の大自然で育った岩清水豚を使用したレシビを学びます。

時間 午後1時～午後3時  
参加料 2,000円  
定員 24名(要申込、応募多数の場合抽選)  
場所 体験学習室  
講師 村林 新吾氏(相可高校食物調理科教師)、相可高校生徒(調理クラブ)

## ゴールデンウィーク 芝生広場 GW イベント

当センター芝生広場で、ミニ機関車搭乗体験やクライミングボード体験に加え、「日曜わくわくものづくり体験教室」でおなじみの講師による体験教室や映画上映会も開催予定です。GWは是非、ご家族揃って熊野古道センターへお越しください。

詳しい日程について  
4月中旬頃に熊野古道センターホームページ  
<http://www.kumanokodocenter.com/>  
にて紹介いたします。

## 熊野古道自然学校

### 4/20(土) 紀伊半島の小動物たち

紀伊半島に生息するサンショウウオなどの小動物の生態を学ぶ観察会を行います。

時間 午前10時～正午 雨天の場合は4/21(日)に延期  
参加料 500円(保険料・資料代含)  
定員 20名(要申込、応募多数の場合抽選)  
場所 熊野市飛鳥町 大又林道  
講師 清水 善吉氏(三重県文化財保護指導委員)  
対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

## 6/15(土) コケの観察会

熊野古道センター近くの村嶋不動滝周辺に生育するコケ植物について、その分類や生態を学びます。

時間 午前10時～正午 雨天の場合は6/16(日)に延期  
参加料 500円(保険料・資料代含)  
定員 20名(要申込、応募多数の場合抽選)  
場所 尾鷲市向井 村嶋不動滝周辺  
講師 山田 耕作氏(財団法人産物植物研究所非常勤研究員、理学博士)

## わくわく 日曜ものづくり体験教室

東紀州で活躍中の木工職人や工芸家を講師に、毎週日曜日に開催している体験教室です。事前申込不要で、小さなお子様から大人まで気軽に楽しんで頂けます。

時間 午後1時～3時 受付  
参加料 200円～(※体験によって異なります)  
場所 交流棟ロビー  
講師 大形 弥生氏、村川 実氏、竹内 健悟氏、中井 智章氏、吉田 誠人氏、熊野古道センター職員

## 新しい古道の歩き方

### 世界遺産登録15周年記念 新しい古道の歩き方 尾鷲トレイルを歩く

三方を山に囲まれた尾鷲市。一つ一つの山々は山稜で結ばれ、一本のトレイルが走っています。高峰山1,045mを最高峰にその距離約36km、累積標高は土約3,000m、このロングトレイルを4日間で歩くトレッキングを開催します。

開催日 第1回 5月11日(土)、5月12日(日)  
第2回 5月25日(土)、5月26日(日)  
参加料 1泊2食付きプラン…19,800円(各回) 宿泊代、マイクロバス代込み  
宿泊なしプラン…10,800円(各回) マイクロバス代込み  
募集定員 各回 25名(要申込、応募多数の場合は抽選)  
申込方法 熊野市観光公社に申込用紙をFAXまたは郵送  
●申込用紙は熊野古道センター ホームページよりダウンロードできます。  
申込期間 4月16日(火)17時まで ●郵送の場合は4/16(火)必着  
旅行企画 熊野市観光公社  
三重県知事登録旅行業第2-301号 国内旅行業取扱管理者 宮田 寛子  
FAX(0597)89-3300 〒519-4324 三重県熊野市井戸町653-12  
●その他 詳細については、熊野古道センター ホームページまたは電話にてお問合せください。

## 講座・講演会

### 連続講座 初心者のための山歩き入門

小中学生や登山の経験が少ない方、熊野古道センター主催の山歩きのイベントに興味があるが、体力に自信がなく参加を迷っているという方のための山歩き講座を開催します。

日時 4月6日(土) 午前10時～午後3時  
4月13日(土) 午前8時30分～午後2時 ●2回の連続講座です。  
参加料 500円(保険料・資料代)  
定員 15名(要申込、応募多数の場合抽選)  
場所 体験学習室 および 熊野古道泊観音道  
講師 宮本 秀男(熊野古道センター職員・日本スポーツ協会山岳上級指導員)

## 連続講座 古文書からひも解く地域の暮らし

史資料保存の大切さと地域の歴史・文化についての関心を深めていただくため、古文書の基礎的な知識の習得を目指す講座を開催します。

日時 2019年4月～2020年3月までの毎月1回(全12回)  
午後1時～3時  
参加料 1,500円(資料代)  
定員 20名(要申込、応募多数の場合抽選)  
場所 図書資料室  
講師 尾鷲古文書の会

## 連続講座 透明水彩画スケッチウォーク in

ダイナミックな人物像と熊野との融合をテーマに独自の世界観を描く画家、新谷武文氏を講師に迎え、熊野古道と周辺の漁港、町並みの風景を透明水彩画で描くスケッチツアーを開催します。

日時 5月11日(土) / 5月25日(土) / 10月26日(土) / 11月9日(土) 10時～16時  
参加料 3,000円(保険料を含む) ※全4回分  
●画材は各自で購入していただきます。当センターで購入の料をいたします。(5,000円～5,000程度)  
定員 15名(要申込・先着順) ●中学生以上対象  
場所 紀北町～熊野市周辺の東紀州地域で開催  
講師 新谷 武文氏(画家)